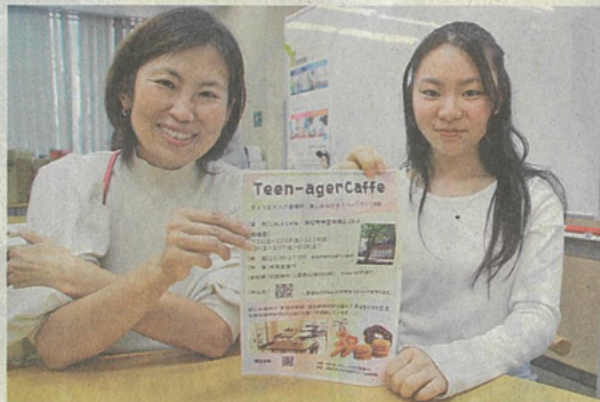


スマホ放して菓子作り交流

中高生が集う場 21日スタート 中区



「ティーンエージャーカフェ」のチラシを手にする奥名博美さん(左)と岩井梨香さん(右)＝浜松市中区で

中高生が菓子作りをしながら交流できる「ティーンエージャーカフェ」が21日から毎月第3土曜日に浜松市中区中央のララカフェで始まる。月に1度、学校や地域、世代を超えて交流するのが目的だ。運営には通信制の第一学院高校浜松キャンパス(中区)の生徒が協力。企画した元浜松市里親会会長の奥名博美さん(53)は「成人する前の大事な時期だからこそ、スマートフォン以外の世界を広げるきっかけをつくりたい」と話す。(高島碧)

通信制高校生が運営協力

ララカフェは、障害者支援などに取り組むNPO法人「えんしゅう生活支援net」が運営する。21日は料理教室の元講師である奥名さんの手ほどきでクッキーを作る。午前11時～午後5時のいつでも菓子作りが可能。出入りも自由だ。スタッフとして第一学院高校の生徒が加わり活動の第1弾としてチラシを作製した。2年生の岩井梨香さん、南新由葉さん、鈴木佑奈さんの3人が同年代の目

を引きやすいパステル色を使い、写真も入れて仕上げた。岩井さんは「友達と集まるとみんなスマホを触ってしまふ。カフェでの菓子作りならスマホと離れられるし、出会いも広がりそう」と期待を寄せる。チラシは同NPOのホームページに掲載している。

同校の玉木英貴教諭は、学内に元不登校の生徒が多い背景に触れ「弱者と見られがちな生徒が支える側となることで自信につながる」と話す。奥名さんは里親の経験から「スマホがあるからこそ閉じられた世界で居場所をなくす若者がいる。生身の人間同士の関わりによって世界は広いことを伝えたい」と話す。カフェの参加は初回無料、2回目以降は1回300円。☎ララカフェ053(455)8226